

平成27年7月30日

株式会社 山陰合同銀行

養父市市有林J-VER売買契約調印・認証書贈呈式開催
姫路市の八幡グループ3社に合計400t-CO2を仲介
～養父市へのJ-VERビジネスマッチング実績が累計『1,070t』『577万円』に～

山陰合同銀行(頭取 石丸 文男)では、養父市が保有するオフセット・クレジット(J-VER)について、姫路市の八幡グループ3社とのビジネスマッチングが成約しましたのでお知らせいたします。

平成27年8月4日(火)には、養父市(市長 広瀬 栄)と当行が紹介した八幡グループ3社との間で「養父市市有林J-VER売買契約書」が締結され、下記の通り、調印・認証書贈呈式が行われます。

当行は、平成25年11月に養父市市有林J-VER地域コーディネーターとして第一号の認定をいただき、養父市が取得・保有しているオフセット・クレジット(J-VER)の販売支援(ビジネスマッチング)を行ってまいりました。この度、当行の経営資源である広域店舗ネットワークを活かし、兵庫県の八幡グループ3社とのビジネスマッチング成約に至ったものです。

当行は、平成25年11月以降、今回成約となる3社400t-CO2を含め、合計16社1,070t-CO2の養父市J-VER売買契約を仲介してまいりました。このオフセット・クレジット(J-VER)の販売支援(ビジネスマッチング)は、他金融機関ではほとんど例のないユニークなものであり、地方自治体との連携強化や地方創生の取組にも寄与するものと考えております。

今後も地球温暖化防止・森林保全への貢献とともに、取引先企業の付加価値向上の取り組みにつながるカーボン・オフセットの提案を、積極的に推進してまいります。

記

【調印式概要】

日 時： 平成27年8月4日(火) 13時30分～14時00分
場 所： 養父市役所 2階会議室(兵庫県養父市八鹿町八鹿1675番地)
出席者： (敬称略)

＜養父市＞	市長	広瀬 栄
＜株式会社パナホーム兵庫＞	代表取締役社長	熊淵 辰巳
＜ヤハタホールディング株式会社＞	代表取締役社長	香山 真介
＜株式会社ニューマテリアル兵庫＞	代表取締役会長	香山 廣紀
＜当 行＞	常務執行役員	
	兵庫・大阪営業本部長	竹迫 泰裕

内 容： ① J-VER売買契約調印
② J-VERプロジェクト協力企業認証書の贈呈

以 上

＜養父市市有林 J-VER 売買契約におけるビジネスマッチング実績＞

番号	調印日	顧客名	購入量	税込単価	税込購入金額
			(t -CO2)	(円)	(円)
1	平成26年9月12日	(株)フジヤ號	60	5,400	324,000
		(兵庫県加古川市)			
2	平成27年2月5日	昭和住宅(株)	60	5,400	324,000
		(兵庫県加古川市)			
3	平成27年2月5日	柳田産業(株)	60	5,400	324,000
		(兵庫県高砂市)			
4	平成27年2月5日	八鹿鐵工(株)	40	5,400	216,000
		(兵庫県養父市)			
5	平成27年2月5日	(株)勝美住宅	50	5,400	270,000
		(兵庫県明石市)			
6	平成27年2月5日	(株)L a b o	15	5,400	81,000
		(兵庫県明石市)			
7	平成27年2月5日	KPファクトリー(株)	60	5,400	324,000
		(兵庫県三木市)			
8	平成27年6月4日	(株)マックアース	60	5,400	324,000
		(兵庫県養父市)			
9	平成27年6月4日	(株)メイショク	60	5,400	324,000
		(兵庫県加古川市)			
10	平成27年6月4日	関西重工業(株)	60	5,400	324,000
		(兵庫県加古郡播磨町)			
11	平成27年6月4日	(株)アミューズ	60	5,400	324,000
		(大阪府吹田市)			
12	平成27年6月4日	(株)八角	20	5,400	108,000
		(兵庫県加古川市)			
13	平成27年6月22日	安西工業(株) (兵庫県神戸市)	65	5,400	351,000
14	平成27年8月4日	(株)パナホーム兵庫 (兵庫県姫路市)	200	5,400	1,080,000
15	平成27年8月4日	ヤハタホールディング(株) (兵庫県姫路市)	100	5,400	540,000
16	平成27年8月4日	(株)ニューマテリアル兵庫 (兵庫県姫路市)	100	5,400	540,000
養父市J-VER合計 16件			1,070	5,400	5,778,000

- オフセット・クレジット (J-VER) とは、温室効果ガス (二酸化炭素等) の排出削減量及び森林整備等によって増加した温室効果ガス吸収量をクレジットとして認証されたもの。
- カーボン・オフセットとは、自らが排出した温室効果ガスを、他者が実施した温室効果ガス削減・吸収事業で生み出されたクレジットを用いて自主的に削減する取り組み。